

常任委員会報告

9月11日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会（9月13日）

質問 議案第62号小城市土地開発基金条例の一部を改正する条例について、他市の基金の額はどうなっているか。また、4億円以上の額はすぐに振り分けるのか。

答弁 佐賀市30億円、唐津市16億円、鳥栖市8億円、多久市3億3千3百万円、武雄市2億5千万円、鹿島市2億7千万円、嬉野市1億円、神埼市4億円、伊万里市は条例を廃止している。多久市と武雄市が処分規程を設けている。また、12億6千万円ほどの土地開発基金があるが、4億を除く8億6千万円は他の基金に移すのではなく、第8条の処分する規程に該当する場が出たときに歳入予算に挙げて取り崩していく。

質問 土地開発基金の現金、土地の面積、金額は。また、いつから施行するのか。

答弁 土地の面積は、6万8千777㎡、評価額は1億5,255万6,200円。現金は1億1,260万7,757円。合わせて12億6,516万3,957円。9月21日の議決後、10月1日から施行できればと思っているが、12月議会で繰上金を計上することはないと考えている。

質問 議案第63号小城市印鑑条例の一部を改正する条例について、印鑑登録証明書の交付申請は印鑑登録証と個人番号カードを併用していくか。

答弁 併用で対応していく。

質問 議案72号令和5年度小城市一般会計補正予算（第4号）歳出2款総務費小城市芦刈地区地域活動支援事業について、交付要綱の中に行政区への補助額等、具体的にあげるのか。

答弁 1行政区当たり130万円を基本額とする。交付決定後に予算の状況により再配分が可能な場合は加算をすることがあると予定している。

文教厚生常任委員会（9月14日）

質問 議案第72号 令和5年度小城市一般会計補正予算（第4号）の歳出3款1項2目高齢者福祉費の認知症施策推進事業が1,591千円の減額の理由は。

答弁 会計年度任用職員の異動に伴う減額補正となっている。

質問 歳出3款2項5目保育園費の岩松保育園旧園舎の解体の今後の計画は。

答弁 来年度当初予算で計上し、保護者、近隣住民への説明後、解体工事を行う予定である。

質問 歳出10款1項2目事務局費の子どもサポーター事業、学校生活支援員事業が増額となっているが、人員が増えるのか。

答弁 会計年度任用職員の人件費が増えた分の増額分で、人員の増加ではない。

質問 議案第76号 令和5年度小城市病院事業会計補正予算（第1号）の医業外収益の新型コロナウイルス緊急補助金が、令和4年10月から令和5年3月までの分が確定した予算が計上されているが、今後はどうなるのか。

答弁 新型コロナウイルス緊急補助金については、9月末まで病床確保に関して金額は下がっているが現在も続いている。10月以降も国の方でこのまま延長をされるかどうかの判断が今なされている。

産業建設常任委員会（9月15日）

質問 議案第72号 令和5年度小城市一般会計補正予算（第4号）のうち、（歳出）6款 農林水産業費 1項 農業費 農村公園維持管理事業について親水公園の外灯の整備内容及び発注はどのように行うのか。

答弁 親水公園の外灯のポールが経年劣化で色が剥げているので、塗り替えと照明のカバー交換とLED化を9本予定している。発注は指名委員会にかけ、入札を予定している。

質問 議案第77号 令和5年度小城市下水道事業会計補正予算（第1号）について、特別損失の過年度損益修正損について、どのような修正をしたことによつて、この金額になったのか。

答弁 昨年度まで実施してきた下水道の区域見直しに伴い、下水道区域から浄化槽の区域に変わった方の中で、事前に負担金をいただいている方に対して、約150世帯、2千万円程度の負担金の返還が生じた。その返還の作業を昨年度の2月から開始し、年度内で終わる見込みがなく、全額を

昨年の予算に計上し、今年度も同額の予算を形上していたが、昨年度、2千万円のほとんどが実績として完了したので、実績額を落とすとして、残額を今年度の返還分とした処理になる。



▲旧岩松保育園舎



▲芦刈親水公園の外灯